

今年 は元日から大きな地震があり、大変なスタートとなりましたが、皆様ご無事でしょうか？今まで経験したことのない揺れはとても怖かったですね。余震も多く、少し揺れるだけでも体に力が入ります。能登にいる方々は想像を絶する辛い状況であると思います。早く余震が収まり、穏やかな日常が1日でも早く戻るよう願うばかりです(>人<)

1月・2月 イベント・行事

- 1/1 (月) 元日

1/6 (土) 小寒

1/7 (日) 人日の節句 (七草)

1/8 (月) 成人式

1/15 (月) 小正月

1/20 (土) 大寒 二十日正月

1/24 (水) すき焼きの日
- 2/3 (土) 節分

2/4 (日) 立春

2/11 (日) 建国記念の日

2/14 (水) バレンタインデー

2/15 (木) 涅槃会

2/19 (月) 雨水

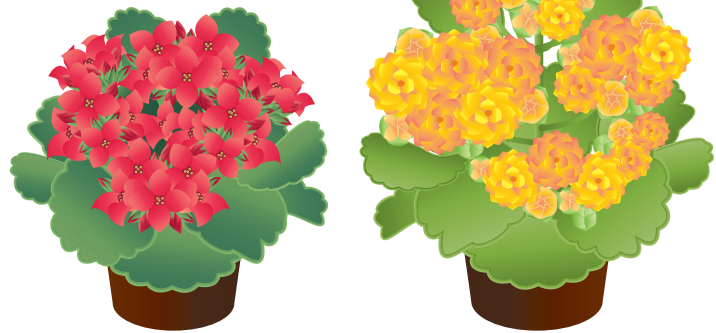
2/22 (木) 猫の日

2/23 (金) 天皇誕生日

1/24 すき焼きの日

「すき焼きの日」は色々なところで制定されているので日付も様々ですが、1872年(明治5年)1月24日に明治天皇が牛肉を食した日にちなんで、日本の牛肉文化が定着するきっかけとなった日として制定されたそうです。675年に出された肉食禁止令によって牛・馬・犬・猿・鶏を公に食することが禁止されていました。一般的にはある程度食べられていたという説もありますが、解禁となったのは明治維新以降のこと。新政府は西洋人に倣って栄養のある肉を食べることを奨励しました。また、欧米との外交において、公式の会食で出される西洋料理を食するために必要不可欠だったこともあり、明治天皇自ら進んで食べることを宣言しました。このことがきっかけとなり、一般庶民も牛肉を食すようになりました。「すき焼き」の語源は、江戸時代中期に関西で農具の鋤(すき)を鉄板代わりにして貝や魚を焼く「魚すき」「沖すき」と呼ばれる料理があり、その鋤で牛肉を焼いたものを「鋤焼(すきやき)」と呼んだのが由来です。一方関東では、たれで煮る「牛鍋」が流行していましたが、関西の「すき焼き」が伝わり、呼び名は「すき焼き」に統一されました。

今月の花



カランコエ

花言葉・あなたを守る・幸福を告げる・たくさんの小さな思い出
由来・・・カランコエは種類がとても豊富で、大別すると花を楽しむタイプと、多肉質の葉を楽しむタイプに分かれます。今回は草花としてのカランコエについてです。原産地はマダガスカルで東アフリカや南アフリカ、アラビア半島、東アジア、東南アジアにまで広く分布していて、約100種類あるそうです。日本には1931年(昭和6年)に渡来。名前の由来は、フランスの植物学者ミシェル・アンダーソン氏が中国名の「加藍菜」の発音から名付けたと言われる説が有力です。カランコエの多くはマダガスカル原産で暑さに強く、開花調整されたものが通年出荷していますが本来は日が短い時季に花が咲く短日性植物です。寒さには弱いですが、冬でも室内で元気に育ってくれます。開花時期も長いので冬の間楽しめます。花形や色のバリエーションがとても豊富。華やかな八重咲や定番の一重咲き、ベル型など様々です。園芸初心者でも育てやすく、他の植物との寄せ植えにもおすすめです。

今年の干支 ～ 甲辰(きのえたつ) ～

今年の干支は「辰」ですね。十二支はもともと古代中国が起源で、天体の動きや暦、時間を表すのに用いられていました。紀元前の中国では、木星の位置で年を数えていて、木星の公転周期が12年であるために天を12等分しました。12に分けられた天にはそれぞれ子から亥までの字(中国で数を表わす)を当てはめました。それが十二支の起源です。十二支に動物を当てはめた理由自体がはっきりとは分かっていませんが「人々が覚えやすいように動物を割り当てた」という説が有力だそう。動物の方が親しみやすく、小さな子供でも覚えやすいですね。架空の生き物の「龍」が選ばれた理由についてもはっきりとは分かりませんが、龍は古来より中国で強さ、権力、繁栄の象徴とされていた為、縁起の良い龍を干支に選んだのかもしれません。ちなみに、西アジアや東ヨーロッパの一部の地域にも十二支の風習がありますが、それぞれの国で当初の動物とは違う動物になっていることも。タイやベトナムで卯年は「猫年」、モンゴルでは寅年が「豹年」で、日本で亥年は「イノシシ」ですが、他の多くの国では「豚」だそうです。本来龍を指す「辰」に関しても、アラビアではワニ、イランではクジラに置き換わっているそう。干支は万国共通ではありませんが、アメリカでも干支の切手が売られているそうですよ(´▽`*)

甲辰(きのえたつ)：「甲」は物事の始まりを表わしていて「甲辰」は新しいことに挑戦して成功する、これまで準備してきたことが形になるといった大変縁起の良い年になると言われています。

今日のレシピ 「手羽元と水菜の柚子こしょう鍋」

【材料：2人分】

- ・手羽元 6～8本(400g)

・水菜 200g(正味)

・しいたけ 4枚

・油揚げ 1枚
- A

・水 500ml

・鶏がらスープの素 大さじ1

・柚子こしょう 大さじ1

・酒 大さじ2

・醤油 大さじ1

・砂糖 小さじ1

【作り方】

- ①

水菜は食べやすい長さのざく切りにします。しいたけは石突を取り除き食べやすく切り、油揚げは短冊切りにします。
- ②

鍋にAと手羽元、しいたけを加えて加熱します。手羽元にある程度火が通ったら水菜と油揚げも加えて加熱し、具材に火が通ったら出来上がり。

ピリッと和風テイストのスパイスが効いたあっさり鍋♪
✕には卵とご飯で雑炊やうどんを入れても美味しいですね♪



四万十にお住まいの「みやちゃん」さんの
素敵なお料理ブログからレシピをご紹介します
四万十住人の簡単料理ブログ
<http://shimanto-miyachan.blog.jp/>

Instagram やってます。

\Follow Me!/\

@hamahome2021



濱田工務店の facebook

なるべく毎日更新中! <http://hama-home.jp/wp/>



2023年
12月6日(水)

皆様、お陰様にて無事に手術が成功し、医師の方から退院許可を頂きました。昨日早々と退院し、今日はリハビリ専用の施設に転院させて頂きました。左右の膝の手術も名医にお願いすることができ、腰の手術の方も名医を紹介いただいてラッキーな年寄りと言われています。この様に痛みが消え失せ嘘の様な感じをさせて頂いて居ります。但し、色々な規制が在りますが、何せ痛みが消えたことが何よりです。現代の医学の限界まで治療をして頂き有難く感謝です。益々リハビリに励み名医の先生方と自分に報いたいと思います。皆様方には暖かな励ましのお言葉ありがとうございます。感謝申し上げます。



白山比咩神社へ
毎年恒例のお参り
に行つて来まし
た

2024年1月 建築吉日カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	1 赤口 元日 建築吉日(たつ)	2 先勝	3 友引	4 先負 建築吉日(たいら)	5 仏滅 建築吉日(さだん)	6 大安 小寒 建築吉日(さだん)
7 赤口 人日の節句(七草)	8 先勝 成人の日	9 友引	10 先負	11 赤口	12 先勝 建築吉日(ひらく)	13 友引
14 先負 建築吉日(たつ)	15 仏滅 小正月	16 大安	17 赤口 建築吉日(たいら)	18 先勝 建築吉日(さだん)	19 友引	20 先負 大寒 二十日正月
21 仏滅	22 大安 建築吉日(なる)	23 赤口	24 先勝 すすき焼きの日 建築吉日(たいら)	25 友引	26 先負 建築吉日(たつ)	27 仏滅
28 大安 建築吉日(みつ)	29 赤口 建築吉日(たいら)	30 先勝 建築吉日(さだん)	31 友引			

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります。

2024年2月 建築吉日カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
				1 先負	2 仏滅	3 大安 節分 建築吉日(なる)
4 赤口 立春 建築吉日(なる)	5 先勝	6 友引 建築吉日(ひらく)	7 先負	8 仏滅 建築吉日(たつ)	9 大安	10 先勝 建築吉日(みつ)
11 友引 建国記念の日 建築吉日(たいら)	12 先負 振替休日	13 仏滅	14 大安 バレンタインデー	15 赤口 涅槃会	16 先勝 建築吉日(なる)	17 友引
18 先負 建築吉日(ひらく)	19 仏滅 雨水	20 大安	21 赤口	22 先勝 猫の日 建築吉日(みつ)	23 友引 天皇誕生日 建築吉日(たつ)	24 先負 建築吉日(さだん)
25 仏滅	26 大安	27 赤口	28 先勝	29 友引		

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります。



地震防災

今回の能登半島地震では道路の寸断で救助に時間がかかり、情報も途絶え、ライフラインの復旧も困難な状況となり、予想を上回る被害であったと思います。家具の転倒防止や非常用品などの対策をされている方も多いと思いますが、改めて地震対策について調べてみました。

地震が起きた時に家の中で 安全な場所の条件は3つ

- ・落下物や転倒物が少ない場所
- ・窓が少なくガラスが飛び散らない場所
- ・避難時に外に出やすい（閉じ込められない）場所

▲避難する際に通電火災を防ぐ為、ブレーカーを落としておくとい良いですが、少しでも危険がある場合には無理をせず、自分自身の身の安全を最優先に行動して下さい。通電火災とは、地震などの災害によって停電が起きた後、電気が復旧した時に発生する火災のこと。倒れた電気ストーブや破損した電気配線に通電して可燃物に引火するなど原因はさまざまです。

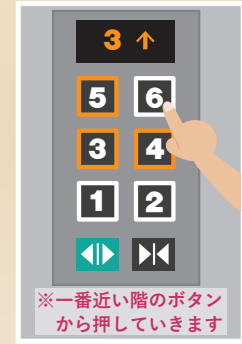
屋内にいる時

- 自宅
 - * しっかりしたテーブルやベッドの下に潜り身を守る。適当な場所がなければ、クッションなどで頭を守る。
 - * 料理中は、可能なら火を消しすぐに離れる。ガスの元栓は後から閉める。台所は食器や調理器具などの飛散、やけどの危険がある為できるだけ早く離れること。火元から離れている時は無理に消しに行かず、揺れが収まってから火を消す。
 - * 大きな揺れが収まったらすぐにドアや窓を開け逃げ道を確保。ペットの脱走注意!

- デパート・スーパー
 - * 商品の落下やショウケースの転倒、ガラスの破片に注意する。柱や壁際に身を寄せ、手荷物で頭を守る。
 - * あわてて出口に殺到するとパニック状態になり危険です。店員さんの指示に従って行動する。

- 映画館・ホール
 - * 座席の足元(列と列の間に)うずくまり、カバンや衣類で落下物から頭を守る。
 - * 頭上に大きな照明などがある場合その場から移動する。
 - * 係員の指示に従い行動する。

- 地下街
 - * 地下街は比較的安全と言われていますが、地盤や地形などにより異なるので、大きな柱や壁に身を寄せ、揺れが収まったら慌てずに地上へ脱出します。
 - * 地下街には約60m ごとに非常口があるそう。
 - * 火災が発生したら、ハンカチなどで口鼻を覆い、体を低くして壁づたいに地上へ向かう。



最近は「**玄関**」が安全と言われています。玄関は構造的に柱が多く、家の中でも比較的頑丈で倒壊しにくいと言われています。◎構造上柱が多く頑丈◎大型の家具がない又は、少ない◎窓がない又は、窓が小さい◎ドアを開ければすぐ避難できる

玄関に逃げる際の注意点

- ◎**玄関ドアは開けておく**（歪んで開かなくなることがある）
- ・・・玄関ドア用のドアストッパーを置いておくといよい
- ◎シューズボックスが頭上にある場合は落下物に気を付ける
- ・・・耐震ロックの取り付け、両開きなら取っ手にS字フックを引っかけたり、マジックテープで留めるなど

屋外にいる時

- 路上
 - * 住宅地では、ブロック塀などの塀が倒れてきたり、屋根瓦やエアコンの室外機、プランターなどが落下してくることがあるので、揺れを感じたら頭を守りながら離れる。
 - * 強い揺れが起きると、耐震性能の低い住宅が倒壊し、がれきや窓ガラスが路上に散乱する可能性があります。又、電柱が倒れてくることもある為周辺の状況に注意し、公園など広く安全な場所へ避難する。

- がけ
 - * 登山など山にいる時は、地震で地盤がゆるみ、崩れやすくなっている可能性があります。崖、急傾斜地など危険な場所から離れます。落石にも気を付けて下さい。

- 海岸
 - * 海岸近くで地震にあった時は揺れの大きさに関わらずすぐに高い所へ避難しましょう。海の近くに高台がない場合はできるだけ高い所へすぐに避難します。3階建て以上の建物を目指し、3階より上に上がります。
 - * 津波は引き波から始まるとは限りません。すぐに避難して下さい。**津波は繰り返し襲ってくるので、いったん波が引いても絶対に戻ってはいけません。**第一波の後にさらに高い波が来ることもあります。
 - * 海水浴中の場合、監視員やライフセーバーがいれば指示に従います。遊泳中に赤と白の格子柄の旗「**津波フラッグ**」が掲げられていたら、津波の恐れがあります。すぐに海からあがり高台へ避難します。

- 車の運転中
 - * ハンドルをしっかりと握り、ハザードランプを点け、減速して道路の左端に寄って停車します。エンジンを切り、揺れが収まるまで車外に出ず、カーラジオなどで情報入手。
 - * 避難する場合は、できるだけ道路外の場所、駐車場や空地などに車を移動させます。やむを得ず道路上に車を置いて行く場合は、窓を閉め、エンジンを切り、サイドブレーキをかけて、キーを付けたままドアロックもしない。連絡先を見えるところに書いて、車検証などの貴重品は持って行きましょう。
 - ※ドアロックせずにキーを付けたままにしておく理由は、緊急車両や救援車両の通行の妨げになった場合に、すみやかに移動させるためです。

- 電車やバスの中
 - * 停車の衝撃に備え、つり革や手すりにしっかりつかまる。揺れが収まるまでカバンなどで頭を保護し、姿勢を低くして身を守る。
 - * 停車後は乗務員の指示に従う。

- 駅のホーム
 - * 電光掲示板や看板などの落下物に注意する。
 - * 改札口に殺到するとパニックになります。大きな揺れが収まるまで、近くの柱に身を寄せ、体勢を低くしてカバンなどで頭を保護します。
 - * 構内アナウンスに従う。

- 川
 - * 津波は川を遡上(逆流)します。**上流側に向かって逃げるのではなく、流れに対して直角方向に素早く川から離れます。**

小 寒（しょうかん）

1 月 6 日頃

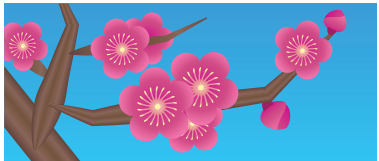


小寒は寒の入りと言われ、これから池や川などに張る氷の厚みがどんどん増していきます。2月の節分までが寒の内といわれ肌を刺すような寒さです。

芹乃栄 **せりすなわちさかう** 1/6 ～ 1/10 頃
芹（せり）が盛んに育つ頃。冷たい水辺で育った芹は、葉の先までみずみずしく、寒芹と呼ばれ珍重されました。
水泉動 **しみずあたたかさをふくむ** 1/11 ～ 1/15 頃
地中で凍った泉が動き始める頃。水泉とは湧き出る泉のことです。厳しい寒さの中で湧き出る泉にあたたかさを感じます。
雉始雉 **きじはじめてなく** 1/16 ～ 1/19 頃
雉は雄の雉が鳴くことを表わす漢字で、雄が雌への求愛のために美しい羽根を広げケーンケーンと鳴き始めます。

立 春（りっしゅん）

2 月 4 日頃



春が立つ＝春の兆しが見え始める時期という意味で、暦の上で春が始まります。とはいえ、厳しい寒さが続く頃ですが、少しずつ寒さのピークが過ぎて寒さが和らぎ始めます。

東風解凍 **はるかせこおりをとく** 2/4 ～ 2/9 頃
東風は春風という意味で、中国で古くから親しまれている陰陽五行説において東が春を表わすことからきています。
黄鶯睨晚 **うぐいすなく** 2/10 ～ 2/13 頃
ウグイスが美しいさえずりで春の到来を告げます。古くから梅の花とともに春の兆しとして愛されてきました。
魚上氷 **うおこおりをいずる** 2/14 ～ 2/18 頃
湖や川などに張っていた氷が割れ、氷の下で泳いでいた魚が跳ね上がります。水の中でも春の訪れを感じられます。

大 寒（だいかん）

1 月 20 日頃

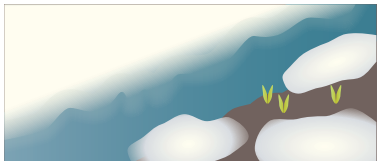


フキの花が咲く頃。フキの花茎は春にもっとも早く顔を出す山菜と言われ、冬ごもりから目覚めた熊が最初に食べるのがフキの花茎（フキノトウ）といわれているそう。

款冬華 **ふきのはなさく** 1/20 ～ 1/24 頃
款冬とはフキのこと。冬に黄色の花を咲かせることから、冬黄（ふゆき）がつまって「ふき」になったと言われています。
水沢腹堅 **さわみずこおりつめる** 1/25 ～ 1/29 頃
沢の水が厚い氷になって張り詰めます。この時期は一年のうち最低気温になることが多いです。
鶏始乳 **にわとりはじめてとやにつく** 1/30 ～ 2/3 頃
春の訪れを感じたニワトリが、卵を産み始めます。本来、鶏の産卵期は春から初夏。卵はその時期だけの貴重品だったそう。

雨 水（うすい）

2 月 19 日頃



雪が雨にかわり、冬の間に降り積もった雪が解けてせせらぎとなる季節。柔らかい日差しと暖かな草木の芽生えを助け、日に日に春の息吹を感じられるようになります。

土脉潤起 **つちのしょううるおいおこる** 2/19 ～ 2/23 頃
冷たい雪が暖かい春の雨に変わり、冬の間に固くなった土が柔らかくなって、眠っていた生き物も目を覚ましはじめます。
霞始縫 **かすみはじめてたなびく** 2/24 ～ 2/28 頃
野山にぼんやりと春霞がたなびき、幻想的な風景が見られる頃秋に見られるものは「霧」と呼びます。
草木萌動 **そうもくめばえいずる** 2/29 ～ 3/4 頃
寒い冬を耐えた新しい命が、いっせいに芽吹き、ほんのりと薄緑に色付いた草木が見られます。

かまくら

「かまくら」といえば冬の風物詩のひとつ。子供の雪遊びのイメージがありますが、もともとは秋田県の小正月（1月15日前後）に水神様を祀る伝統行事の名称だったそうです。この行事は、かまくらの中に入って、正面に祀られた水神様にお賽銭を上げ、家内安全・商売繁盛・五穀豊穰などを祈願するというもので、特に有名なのが横手市の「かまくら」で約450年の歴史があるといわれています。「かまくら」の基になった風習として、武家の住んでいる内町では昔、旧暦1月14日の夜に雪室を作り、その中に門松や注連縄（しめなわ）などを入れて、お神酒や餅を供えてから燃やし、無病息災を祈った左義長という正月の火祭り行事が行われていました。一方、商人の住む外町では、雪の降る時期に水不足になりやすいため、旧暦1月15日の夜に町内の井戸のそばに雪穴を作り、水神様（おしずの神さん）を祀り、良い水に恵まれるようにと祈る行事がありました。また、当時の子供たちが積もった雪に穴を開け、その中に入って遊んでいたこともありこれらの行事や遊びが融合して、小正月の儀式に作られる「かまくら」だけでなく雪で作った洞すべてを「かまくら」と呼ぶようになったようです。「かまくら」の語源にはいろいろな説があり、これだと断定することが難しいですが、代表的なもので①かまどの形に似ているからという説。形だけでなく、正月用のしめ飾りなどを焼いていたそう②鎌倉大明神を祀ったからという説③雪室は神様のおいでになるところ神座であることから、神座（かみくら）が変化したという説④後三年の合戦で弱冠16才で勇敢に戦った鎌倉権五郎景政を祀ったことからという説⑤田畑を荒らす害鳥を追い払う鳥追い歌の歌詞に「鎌倉殿」という歌詞があることからという説などがあります。かまくらを作る機会はなかなかないので、各地で行われているイベントに参加してみるのもよいですね。横手市のかまくら祭の他にも、日光市の湯西川温泉のかまくら祭も有名で、ロウソクを灯した小さなかまくらが河川敷いっぱいになり並べられ、とっても幻想的だそうですよ（´・`）

編集後記



ami

年の初めから大きな地震があり、被害に遭われた方が多くいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。濱田工務店は大きな被害もなく、従業員もみな無事でしたが、お客様からは毎日のように屋根瓦や外壁などの修理依頼が入り、本当に大きな地震だったと実感させられます。もうすぐ2か月になりますが、大変な状況の方々少しでも早く落ち着いて生活できるよう願うばかりです。私に出来る事はと考え、せめて自分達のことは自分達でできるようにと避難グッズを見直したら、大荷物になってしまい迷走中ですが、今年も宜しくお願いします(^_^)/

